



宗次ホールコンサートシリーズ
世界のカルテット ∞ カルテットの世界

SQ.47

Attacca Quartet

アタッカ・カルテット



Violin
エイミー・シュローダー
Amy Schroeder

Violin
徳永 慶子
Keiko Tokunaga

Cello
アンドリュー・イー
Andrew Yee

Viola
ネイサン・シュラム
Nathan Schram

2011年、大阪とメルボルン、2つの国際室内楽コンクールで入賞

その名の通り、アタッカの4人は突如として憑りつかれたように弾きはじめた。容赦ないほどの原動力、精密さにかかり、小節線がまるで存在しないかのように流れた。
(アメリカン・レコード・ガイド誌)

最も印象的だったのは集中力を極めたそのエネルギーそして緩徐楽章に於いても決して失われることのない大きな推進力。(ファンファーレ誌)

力強いテンポ、鋭く噛みつくようなピツィカート。ジョン・アダムの律動に未だかつてない演奏で息を吹き込んだ。(WQXRラジオ)

我々は弦楽四重奏の黄金時代に生きているのだと…アタッカ・カルテットのぞくぞくするような演奏を聴いたら、皆が首を縦に振るはずだ。
(NPR:ナショナル・パブリック・ラジオ)

2003年、ジュリアード音楽院の学生により結成。ジュリアードやグアルネリ、エマーソン、フェルメールおよび東京といった名だたる弦楽四重奏団に師事。現在アメリカでも注目を浴びている屈指の若手弦楽四重奏団のひとつである。2007年にカーネギーホールでデビュー。翌年ニューヨーク現代美術館にて行ったコンサートは、ニューヨーク・タイムズ紙に「彼らのコンサートはセンセーショナルの一言につきる！」と大絶賛をうけ、以降南北米各国、ヨーロッパ、オーストラリア、日本で精力的に演奏活動を行っている。2011年に大阪国際室内楽コンクールで第1位、メルボルン国際室内楽コンクールで第3位を立て続けに受賞。その後も2014-15年にかけてニューヨーク・メトロポリタン美術館のレジデント・カルテットをつとめ、2016年秋からはテキサス州立大学でレジデント活動を行う。2013年には米国を代表する作曲家、ジョン・アダムの弦楽四重奏曲全集CD「フェロー・トラベラー」をリリース。また2011年から16年にかけて6年間にわたってハイドンの弦楽四重奏68曲すべてを演奏するプロジェクト「The 68」を行い、2015年にセカンドアルバム「キリストの十字架上の七つの言葉」をリリース。各紙から絶賛を受けた。なお彼らはハイドンを演奏する際にはチェロのエンドピンを使わず弓も持ち替えて臨んでいる。公式サイト <http://attaccaquartet.com/>

宗次ホールの特典チケット!



ハーフ60 (はーふるくじゅう)
一般料金の60%で入場できる後半だけの当日券
※入場は、後半のみとなります。
※休憩時間より発売。事前予約不可チケットです。



チャリティーシート
通常料金の10%アップの料金でご購入いただく指定席!
プラス分をチャリティーとして寄付致します。
1階中央ブロックA列7番~17番・B列7番~18番のみ
※自由席公演でも、チャリティーシートだけはいつも指定席

交通アクセス
地下鉄栄駅 12番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)